

■「市高版・推論の型」を活用した仮説相互評価シート（「探究プログラムⅠ」で使用）

「探究プログラムⅠ」のミニ課題研究（生物学分野）で、仮説設定場面における生徒間の相互評価活動時に使用した。特に、前提が既知であり、仮説が未知であるかに注目させている。

探プロⅠ ミニ課題研究(ダンゴムシ) 仮説相互評価シート

()班(評価対象班)へ ()班(評価者)より

A

*読むだけでは判別できない場合は、インタビューをすること。

No.	項目	点数(○をつける)
1	前提は、既知(すでに分かっていること、調べられていること)である	0・1
2	仮説は、未知(まだ分かっていること)である	0・1
3	仮説は、前提(予備実験結果)から導かれている	0・1
4	仮説は、前提(先行研究結果)から導かれている	0・1
5	仮説は、前提(科学的な事実)から導かれている	0・1
6	仮説は、言い切りになっている	0・1
7	仮説は、否定文になっていない	0・1
8	仮説を検証するための実験方法が明確である(仮説の検証が可能である)	0・1
9	理科室で実験可能である	0・1
10	1週間程度以内で結果がでる	0・1

0…該当しない,1…該当する

コメント(こうしたらより良くなる 等)

()班の現状の仮説 (評価前)

B

<前提>

<仮説>



<修正版の仮説> (評価後)

<前提>

<仮説>



担当の先生のサイン() / まで

*シート A、B は返却後に実験ノートに貼っておくこと(各自)